

SSKU

CIL ひの通信

No.64

編集：特定非営利活動法人 自立生活センター日野

〒191-0031 東京都日野市高幡2-9 ウィステリアガーデン 1F

e-mail cilhino@view.ocn.ne.jp

TEL：042-594-7401

発行所：障害者団体定期刊行物協会（定価百円）

FAX：042-594-7402

東京都世田谷区祖師谷3-1-17 ヴェルドウーラ祖師谷102号室

TEL：03-6277-9611

＜第32回全国自立生活センター協議会（JIL）協議委員総会・全国セミナーin福岡＞

2023年6月27日（火）～29日（木）まで、第32回全国自立生活センター協議会（JIL）協議委員総会・全国セミナーが、福岡県にあるアクロス福岡にて開催されました。

2019年～2022年の3年間は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、オンラインのみでの開催でした。コロナウイルスの感染も大分落ち着き、今年度の開催はアクロス福岡会場での「対面」とWEB会議ツール「Zoom」を使用したハイブリッド形式で行われました。CIL日野から大川と秋山が福岡の会場で参加しました。会場の参加者は介助者含め120人強、オンライン参加者は150人弱、合わせて約270人の参加者でした。

27日と28日の2日間は「私たちがつなげよう! 違いを尊重し平等に価値を感じられる社会へ」をメインテーマに全国セミナーが開催されました。2日間合わせて7つのセミナーがありました。各テーマの講師やパネラーの方々のお話や発表などを聞き、改めて自立生活センターで働く一職員として、身の引き締まるお話ばかりでした。

29日の最終日は、JIL協議委員総会でした。



協議委員総会では常任委員選挙がありました。常任委員会はJILの方向性を定めていく最高意志決定機関です。一般常任委員として立候補者の中から選挙で12名が選出されます。そして今期も無事にCIL日野の秋山が当選いたしました。

（JIL常任委員一覧リンク：<http://www.jil.jp/activity-boardmember>）

私事ではありますが、人生で福岡に行ったのは今回で2回目、11年ぶりになります。すごく嫌いだった飛行機で行きました。嫌いな理由はやっぱり有るのですが…。



さて!福岡3日間とても良かったです。JIL総会
 も良かったです。食べるものみんな美味し
 かったです。滞在中の夕飯は博多ラーメン!でしたが
 …ラーメン好きの私には最高のごちそうでした。
 お昼は「焼き明太子弁当」「バソキ屋の焼きそ
 ば」、んー♥美味しかったです。また行きたいな
 (電車で…心の声)と思っています。(記:大川)

＜SDGsのカードゲームワークショップに参加してきました＞

5月23日(火)新宿の戸山サンライズにて、全
 国自立生活センター協議会(JIL)の関東ブロッ
 クで企画したSDGsのワークショップ『2030 S
 DGs』に参加してきました。

SDGsの17の目標を達成するために、現在
 から2030年までの道のりを体験するゲームです。
 このゲームはSDGsの目標を1つ1つ細かく勉強
 するためのものではなく、「なぜSDGsが私た
 ちの世界に必要なのか」、そして「それがあること
 によってどんな変化や可能性があるのか」を体験
 的に理解するためのゲームです。

「SDGs(Sustainable Development Go
 als:持続可能な開発目標)」という言葉は最近よ
 く聞かれ、障害のある私たちの生活にも密接に影



響を与える目標もあることは知っていましたが、楽
 しみながら本質を理解することができるという
 点、久しぶりの対面で行われるということもあり、ど
 んなことをするのかワクワクしながら参加してしま
 した。

ゲームのルールはいたってシンプルで、与えら
 れたお金と時間を使って、プロジェクト活動を行う
 ことで、最終的にゴールを達成するというものです。
 このゲームについて詳しく知りたい方はホームペ
 ージ、YouTube をチェックしてみてください。
 ホームページ

<https://imacocollabo.or.jp/2030sdgs/>

YouTube

<https://www.youtube.com/watch?v=3R4Wspmvik>



また、このゲームを主催しているイマココラボさんについて知りたい方は、こちらのホームページをご覧ください。

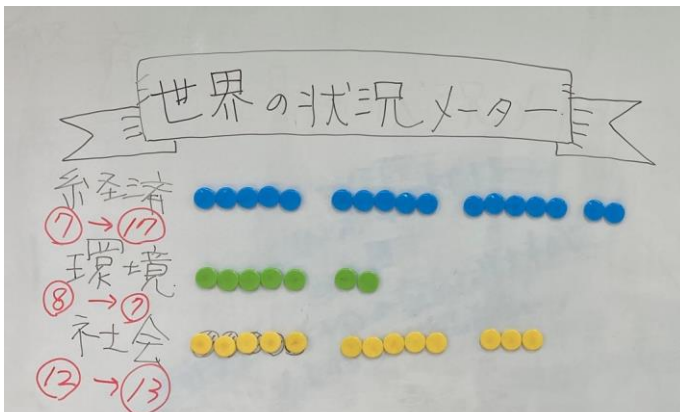
<https://imacocollabo.or.jp/>

このゲームは一人ひとりがそれぞれの目標を達成するためにプロジェクトを実行していくのですが、それには他の参加者の人と交渉したり協力したり

しないと達成できません。また、プロジェクトを実行すると参加者全員で創り出す世界の状況を表している「経済」「環境」「社会」の3つのパラメーターが変化します。この変化は毎回ゲーム参加者によって違って来るそうですが、今回は特に「社会」が大きく変化する結果となりました。ホワイトボードに磁石を並べてそれぞれの変化を表すのですが、「社会」の磁石が足りなくなったのはこのゲームを主催されているイマココラボさんでも初めてのことだそうです。社会変革を目指す自立生活センターの仲間たちの集まりだからこそ、その思いがゲームにも表れたのではないのでしょうか。

このゲームを通して、「行動することで社会が変わる」ということを改めて実感しました。

(記:秋山)



※「SDGs」とは・・・持続可能な開発目標 (SDGs:Sustainable Development Goals) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。

<「日野市障害者保健福祉ひの6か年プラン」の策定が始まりました>

令和6年度～11年度の6年間の計画となる「障害者保健福祉ひの6か年プラン (障害者計画)」と、令和6年度～8年度の3年間の計画となる「第7期日野障害福祉計画」「第3期日野市障害児福祉計画」の検討が始まりました。日野市障害者計画等策定委員会が発足し、16名の策定委員の一人として会議に参加しています。

これらは、障害者基本法第11条第3項に定め

られた市町村障害者計画として、日野市の障害福祉に関する施策について、中・長期的な視点から総合的かつ計画的に推進することを目的として策定する「障害者保健福祉ひの6か年プラン」、障害者総合支援法第88条に定められた市町村障害福祉計画として策定する「第7期日野市障害福祉計画」及び児童福祉法第33条に定められる市町村障害児福祉計画として策定する「第3

期日野市障害児福祉計画」を一体的に策定する
ものです。

これからの将来の日野市として『目指すべき姿』
『実現すべき社会』の目標を掲げ、来年度から6
年間の『施策の方向性』と具体的に実行する『施
策に関する取り組み(事業)』を策定したり、3年
間の具体的な数値目標を設定したりとこれから

の日野市の障害福祉にとってベースになる計画
で大変重要なものとなります。

これまでの相談支援の現場で感じてきた課題
を解決していけるように、計画に少しでも反映で
きるように策定委員として努力したいと思います。
(記:秋山)

<日野市障害者差別解消推進条例 改正までの道のり>

日野市障害者差別解消推進条例の改正に向
けて、以下の改正の経緯、委員からの意見、そして
今後の予定を基に進めていきます。

【改正の経緯】

日野市障害者差別解消推進条例(以下:差別
解消条例)は令和2年4月1日に施行されました。
3年が経過し、社会情勢の変化と委員からの必
要性の意見が出されました。改正の議題は前年
度で開催された日野市障害者差別解消支援地
域協議会(以下:協議会)で提起され、今年度の
協議会で正式に検討されることとなりました。

【委員の皆さんから出た意見】

委員の皆さんから以下の意見が提案されまし
た。

- 時代の変化に合わせて前文の部分を改正す
る必要性
- 国連からの勧告を参考にした記載の追加
- 福祉と教育分野での連携強化
- 相談において当事者本人が差別を認識して

いない場合でも意見を拾う方法の改善

- 合理的配慮の意識向上については事業者か
らの困りごとが相談しやすくなるような手立て
の改善
- 改正内容の周知強化

【今後の予定】

今後のスケジュールでは、10/31の協議会で
以下の内容が確認されます。

- 国際・国内の関連法規の方向性の確認
- 市民に対するアンケート内容の検討
- 改正条文の検討回数と期間の見直し
- 目指す施行実施日の設定

今後、スケジュールの変更があるかもしれませ

んが、まずは国際・国内の動向を把握し、しっかり
と当事者たちの声を聞きながら、日野市にふさわ
しい改正条文を丁寧に検討していく予定です。改
正後は条例の周知と普及にも力を入れて、より多
くの人々に差別解消条例が広まることを目指して
いきます。
(記:藤田)

た まどうぶつこうえん しょうがいしゃ さべつかいしょうけいはつい べんと
 <多摩動物公園 障害者差別解消啓発イベント>

とうい べんと れいわ ねん がつ にち ど にち
 当イベントは、令和5年5月27日(土)と28日
 (日)の2日間、「日野市市制施行60周年～あ
 りがとう60周年日野市PRフェア」にあわせ
 て多摩動物公園の入口付近で開催されました。イ
 ベントの主な目的は、多くの来園者が訪れる場所
 で、障害者差別の解消に向けた啓発活動を行う
 ことでした。

ば ね る て ん じ しょうがいしゃ さべつかいしょう かん
 パネル展示では、障害者差別解消に関する2
 枚のパネルが展示され、視覚的な情報提供として
 多くの来園者にアプローチしました。

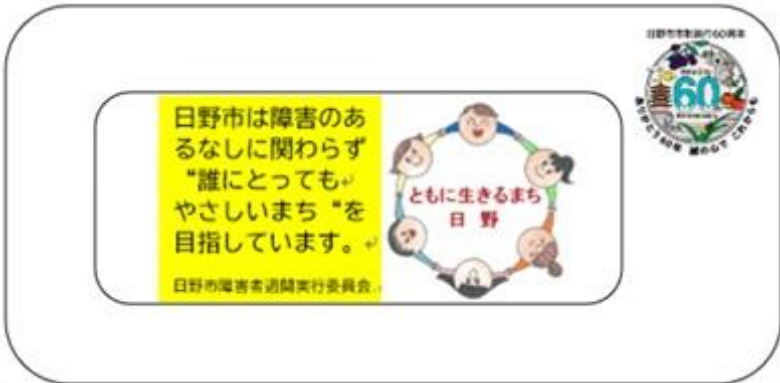
う え っ と て い っ し ゅ ひ の し しょうがい
 また、ウェットティッシュに「日野市は障害のある
 なしに関わらず“誰にとってもやさしいまち”を目
 指しています。」とメッセージを貼りつけ、私たち障



が い しゃ と う じ しゃ し な い じ ゃ う し ゃ す た っ ふ じ む き ゃ く しょう
 害者当事者と市内事業所スタッフ、事務局の障
 害福祉課の皆さんで1000個配布しました。多く
 の子どもたちやその親御さんの手に渡り、印字さ
 れたメッセージを見ていただけたと思います。

か つ っ とう しょうがいしゃ さべつ げき て き へ
 この活動によって、障害者差別が劇的に減るわ
 けではありませんが、今後もこのような啓発活動
 を継続して、誰でも日野市で自分らしく暮してい
 けるよう取り組んでいきます。

き ふ じ た
 (記:藤田)



ひのしりつだいしょうがっこうふくしたいけんこうざほうこく
<日野市立第6小学校福祉体験講座 報告>

れいわねんがつにちもくひのしりつだいしょうがっこう
令和5年9月14日(木)日野市立第6小学校を
ほうもんねんせいたいしやうふくしたいけんこうざごぜん
訪問し、4年生を対象に福祉体験講座を午前と
ごごかいおこなごぜんじかんめ
午後の2回行いました。午前の3・4時間目を4
ねんくみごごじかんめねんくみくみこ
年4組、午後の5・6時間目を4年1組と5組の子
どもたちくろまいすゆーざーせいかつし
供達に「車椅子ユーザーの生活を知って考
てーまはなし
え」をテーマに話をしました。

はなしはじわたしことしおも
話の初めに私の事を知ってほしいと思い、な
しょうがいしゃくろまいすせいかつくろま
ぜ障害者になり車椅子生活をしているのか、車
いすしやうにちじやうせいかつふう
椅子を使用しての日常生活はどんな風にして
るかなど今住んでいる市営のバリアフリー住宅
の写真を見てもらいながら話をしました。また私
の趣味であるゲームや釣り堀での釣りの様子
は私が工夫してやっていることを動画や写真で紹
かいしゅみばそこんしゅうりかいじよしゃしじ
介したり、趣味のパソコン修理では介助者に指示
を出し私のやりたい事を実現している写真を見て
もらいました。「指が動かない障害を持っている人
でも使用するコントローラーや釣竿を使いやすく
かこうじぶんおなげーむつ
加工すれば、自分たちと同じようにゲームや釣り
ができるんだ!」「車椅子の生活は大変そうだけど
ぼくいっしょびっくりようなっとく
僕たちと一緒にじゃん!」とビックリした様な…納得し



ようかんそう
た様な…そんな感想をいただきました。
はなしあとふたりべあじっさいくろまいすの
話の後は、2人ペアになって実際に車椅子に乗
たいけんくろまいすうしささそうさたい
る体験や車椅子を後ろから支えて操作をする体
けんこうたいこうないまわじっさいくろま
験を交代しながら校内を回りました。「実際に車
いすのすごこわくろまいす
椅子に乗ったけど、すごく怖かった。」「車椅子って
ますはしちやうむずくろまいすにち
真っ直ぐ走らせるの超ムズだね」「車椅子に1日
じやうのむりこどもたちすなお
中乗ってるのは無理かも…」など子供達の素直
な感想が聞けました。

さいごこどもたちしつもんくろまいす
最後に子供達からの質問では「車椅子になっ
たのこま
楽しいことはありますか?」「困っていることは?」
などがありました。「車椅子で困っていること、大
へん
変なことはいっぱいあるけど、良いことや楽しいこ
ともいっぱいあるよ」と答えると、みんな驚いた様
子でした。

こんかいごぜんごごかいわおこな
今回、午前午後と2回に分けて行ったのですが、
ひるねんくみきやうしつ
お昼に4年4組の教室でみんなと一緒に学校給
しよくいただきます。しろみざかなふらいおんやさいやさい
食を頂きました。「白身魚フライと温野菜・野菜が
はいすーぷこっぺぱんぎゅうにゅうれいとう
たくさん入っているスープ・コッペパン・牛乳・冷凍
みかん」でした。コッペパンに切り目が入っていて、
しろみざかなふらいおんやさいはさたかん
白身魚フライと温野菜を挟んで食べる感じでした



が、私は知らずにフライを先に食べてしまいコッペパンに挟んで食べれなかったのがちょっと残念でした。ですが学校給食!冷凍みかん!なんて30年以上前に見た以来で、1人で興奮して美味しく食べてしまいました。

この小学校福祉体験講座は、日野市の福祉教育ハートフルプロジェクトの一環で行われました。日野市独自の福祉教材(ハートフルブック)を通して、「子供たち一人一人が周りを理解し、お互いを認め合い、そして自分自身を知ることができること」を目的に行っています。パートナー校として昨年度(2022年)は1校、今年度(2023年)は5校で行われます。

今後、福祉教育において障害があっても当た



り前に地域で生活できるんだという事などを知ってもらうためにも、他の多くの学校においても児童と障害当事者の交流ができれば良いなと思っています。(記:大川)

<日野市内にある『京王線多摩動物公園駅』、『JR豊田駅』、『イオンモール多摩平の森』の施設見学と意見交換会を行いました>

<①京王電鉄が『多摩動物公園駅』の一部時間帯の無人化へ実証実験の説明会参加報告>

京王電鉄が多摩動物公園駅で一部時間帯の駅員無配置化を目指す実証実験を3月中旬から

本格的に始めています。多摩動物公園駅は隣の高幡不動駅から分岐する支線の終着駅です。

2月1日に1回目の改札の遠隔機器説明会が

ありました。高幡不動駅の駅員が遠隔で乗客の交通系ICカードを操作できる機能やモニター画面越しに隣の高幡不動駅の駅員と通話できる機能を備えた機器を改札に設置して実験を開始するとの発表でした。今年3月中旬以降の平日には多摩動物公園駅の事務室にいる駅員が機器の操作やリモート通話の方法などを説明しています。

4月26日に2回目の遠隔機器説明会がありま



しょうがいしゃ かた も に た ー ご ひつだんぼーど ようけん
障害者の方はモニター越しに筆談ボードに用件
か しめ がめん あいて つうわ
を書いて示し、画面の相手との通話ができてい
ようす しかくしょうがいしゃ かた よ だ ぼたん
様子でした。視覚障害者の方は呼び出しボタンの
ばしょ わ かわら ず きかい もの つか たいへん
場所が分からず、機械その物を使うのが大変そう
でした。

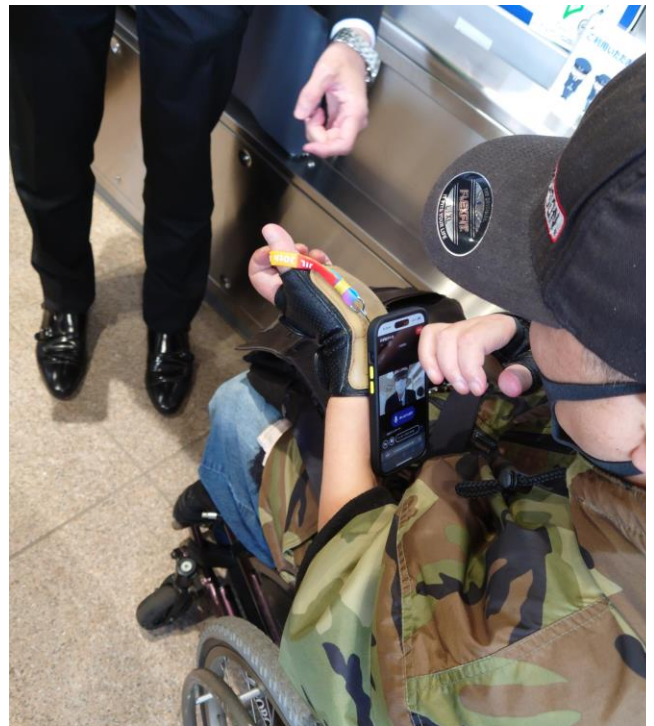
どうめん ひ つづ たまどうぶつこうえんえき じむしつ
当面は引き続き多摩動物公園駅の事務室にい
えきいん きき そうさ せつめい くるま りようしゃ
る駅員が機器の操作の説明や車いす利用者の
しようこうじ する ー ぶせつちたいおうどう おこな えきいん
乗降時のスロープ設置対応等を行います。駅員
むはいち えきいんむはいち じかんたい みてい さい たか
無配置(駅員無配置の時間帯は未定)の際は高
はたふ どうえき えきいん ていきじゆんかい よてい
幡不動駅の駅員が定期巡回する予定になってい
ます。

た まどうぶつこうえんえき えきいんむはいち た
多摩動物公園駅だけでなく、駅員無配置の他
えき りよう じゆうみん しょうがいしゃ かたがた り
駅についても、利用する住民や障害者の方々の利
べんせい あんぜんせい さ かくてつどうがいしゃ
便性や安全性が下がらないように各鉄道会社の
みなさまと協力して、だれもが使いやすく安全な
えき きょうりよく つか あんぜん
駅にしていければと思っています。

き おおかわ
(記: 大川)

どうじつ くるま りようしゃ ちようかくしょうがいしゃ しかくしょう
した。当日は車いす利用者・聴覚障害者・視覚障
がいしゃ きんりんじゆうみん ひのしぎかいぎいん せんか まど
害者・近隣住民や日野市議会議員が参加し、窓
ぐち えんかくきき たいけん おこな かいめ せつ
口の遠隔機器の体験を行いました。1回目の説
めいかい う えんかくそうさ きき かいぜんてん せつめい
明会を受けての遠隔操作機器の改善点の説明
こじん すまーとふおん きやーあーるこーどまた えぬえふしーた
(個人のスマートフォンでQRコード又はNFCタ
ぐによる読み取りをすることで、スマートフォンで
たかはたふ どうえき えきいん
高幡不動駅の駅員とやりとりができる)を受けま
した。

せつめいごじっさい こじん すまーとふおん たいけん
説明後実際に個人のスマートフォンで体験をし
てみました。読み取りをする場所が悪く、すぐには
よ と 読み取りができませんでした。読み取りができれば
こじん つか な すまーとふおん
ば、個人の使い慣れているスマートフォンなので、
たかはたふ どうえき えきいん
高幡不動駅の駅員とのやりとりがしやすかったです。
ほか さんかしゃ ひと たいけん ちようかく
す。他の参加者の人も体験していましたが、聴覚



②『JR 豊田駅』の『話せる指定席券売機』の体験と意見交換会報告

2023年7月12日(水)、日障連主催のJR豊田駅の『話せる指定席券売機』の体験と意見交換会に参加しました。障害当事者を含め各団体から8名、日野市役所障害福祉課・都市計画課から5名が参加しました。JR側からは豊田駅駅長、八王子社モビリティサービスユニット(鉄道のおペレ-ション えきせつびなど たんとうしゃ はちおうじしゃ オペレーションや駅設備等)担当者、八王子社お客様サービス全般担当者が対応してくださりました。

まずJRの職員から『話せる指定席券売機』の説明を受けました。駅の『みどりの窓口』や『きっぷうりば』には係の方がいると思います。この『券売機』はコールセンター(関東は埼玉のコールセンターが対応)に待機しているオペレーターが対応してくれます。下記のような手順で利用できます。

- ① 券売機の利用者から呼び出しがあると、オペレーターが応答します。
- ② 遠隔操作によって、通常の指定席券売機では発行できない特殊なきっぷを発行します。



③ 希望を伝えたり、不明点を質問しながら駅の窓口のように利用ができます。

実際に視覚障害者2名、車椅子ユーザー1名、聴覚障害者1名の合計4名が体験しました。呼び出しボタンと受話器の位置、通話時の音量などのボタンの位置の違い、手帳や筆記用紙を置く位置の確認など、結局一人では購入できそうにないため「駅員さんと呼んで助けていただくのが早い。」と体験した4人は同じ感想を持ちました。

また私が東海道新幹線を利用する想定で質問してみました。この『券売機』で車椅子席と介助者席の指定チケットは購入できるのですが、個室の指定チケットは購入できないとのことでした。

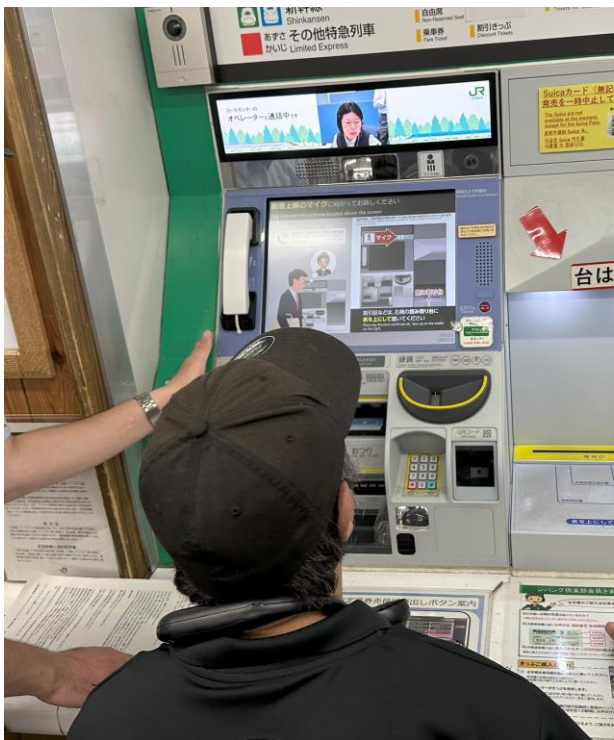
これまで通り『みどりの窓口』で購入してくださいと言われてしまい、「結局『みどりの窓口』に行かないとダメじゃん。」とガッカリしてしまいました。

体験後、場所を変えて意見交換をしました。今回参加した障害当事者の方々から多く出ていたのは、やはり「豊田駅ホームにホームドアを設置してほしい。」という意見でした。昨年(2022年10月)

おこな じえいあーるとよだ えきばり あふりーけんがく じえい
に行われた『JR豊田駅バリアフリー見学とJ
あーる こんだんかい ほーむどあ はなし て
Rとの懇談会』でもホームドアの話が出ていまし
じえいあーるがわ かいどう ねん かんりよう よてい
たが、JR側の回答は「2031年に完了予定で
す。」とのことでした。そこで今回「豊田駅のホーム
どあ ころ ねん かんりよう
ドアはいつ頃になるのか?」「2031年に完了との
ことだが遅すぎるのではないか?」と意見させても
おそ いけん
らいました。JR側は「全体の乗降者によって優
じえいあーるがわ ぜんたい じようこうしゃ ゆう
先順位があるのでなんとも言えない。コロナ関連
せんじゆん い ころ なかんれん
で遅れもある。」との回答でした。また日野市都市
おく かいどう ひのしとし
計画課からは「日野市としてもホームドアについ
けいかくか ひのし ほーむどあ
て、一緒に動きたいと思っている。」と協力的な意
いっしょ うご おも きようりよくてき い
見がありました。

ほか し かくしやうがいしゃ かた ちようかくしやうがいしゃ かた
他にも視覚障害者の方、聴覚障害者の方から
ほーむどあ ひつよう といれ ほか とらぶ
は「ホームドアは必要だけれど、トイレや他のトラブ
る おお み あつりよく ぼうりよく えき
ルが多い。見えない圧力や暴力については、駅の
じんいんはいち ふ どうよう
人員配置を増やしていただくしかない。」等の要
ぼう いけん て
望や意見が出ました。

また「各地域に障害者の施設があるが、日野



えき とよだ えき おお そんざい こうりよ
駅より豊田駅にはより多く存在することを考慮し
ゆうせんじゆん い き いけん とし じえい
て優先順位も決めてほしい。」と意見した時、J
あーるがわ じつ たいせい あたら とよだ えき ひ
R側から「実は、体制が新しくなり、豊田駅が日
の えき かんり ひの えき いたくがいしゃ とよだ
野駅を管理している。日野駅は委託会社が、豊田
えき じえいあーるしよくいん きんむ さくねん ねん
駅はJR職員が勤務している。昨年(2022年)
が つ はちおうじ えいぎやうどうかつせんたー とよだ えき
の3月より、八王子営業統括センターが豊田駅・
はちおうじ えき たか お えき じえいあーるしよくいん はいち
八王子駅・高尾駅のみJR職員を配置している。
はちおうじ えき きたはちおうじ えき にしはちおうじ えき たか お
八王子駅が北八王子駅や西八王子駅など、高尾
えき ふじの えき さがみ はらえき かんり
駅が藤野駅や相模原駅などを管理している。」と
はつげん わたし ふく ば ひと こえ
の発言に私も含めてその場にいた人たちが声を
そろ びっくり
揃えてビックリしました。

さいご にっしやうれん じ むきよく じえいあーる きよう
最後に日障連事務局から「JRとして、今日の
たいけん いけんこうかん ないよう えきいん はけんがいしゃ
体験や意見交換した内容が、駅員や派遣会社の
ひと つた けんしゆう きやういく
人に伝わるのか?」「研修や教育はどうなっている
のか?」と質問したところ、JR側からは「サービ
すかいじよし きやういく う しかく と
ス介助士の教育を受けて資格を取らせている。」
とのことでした。

こんかい はな していせきけんばい き たいけん
今回『話せる指定席券売機』体験をしました
けつきよくえきいん よ ほう はや つか がって わる
「結局駅員呼んだ方が早い!」と、使い勝手が悪く
おも ぜんねん こんご かいぜん きたい
思えてしまい残念でしたが今後の改善に期待し
たいと思います。また、関東圏では『話せる指定席
けんばい き おべれーたー さいたま いっしょ
券売機』のオペレーターが埼玉の一か所だけで
おこな き びっくり ほか ひの
行っていると聞いてビックリ!でした。他にも日野
えき いたくぎやうしゃ じえいあーる しよくいん
駅は委託業者って…。JRの職員はそんなに
ないのかなあと思いました。今も昔もですがJR
しんじゆくえき ちようじ かんえきいん く ま
新宿駅では長時間駅員が来るのを待たされてし
まうことがあります。それも人手不足が原因…の
ひとて ぶそく げんいん
一因かもしれませんが、私たちは妥協せずに私た
いちいん わたし だきやう わたし
ちの行動や働きかけを通して少しずつではあるけ
こうどう たら とお すこ
れどJRだけではなく他の交通機関も安全で使
じえいあーる ほか こうつうきかん あんぜん つか
いやしくしていきたいと思っています。

き おおかわ
(記:大川)

③『イオンモール多摩平の森』見学会・意見交換会報告

2023年8月31日(木)、日障連主催のJR豊田駅北口にあるイオンモール多摩平の森の施設見学会に参加しました。視覚障害者3名、身体障害者1名、福祉団体関係者9名を含めた合計16名が参加しました。イオンモール側からは営業マネージャーを含めた3名で対応していただき、施設内の説明をしていただきました。

イオンのショッピングモールでは、年齢・性別に関係なく来館する方々に便利さを感じて頂くことを基本として「すべてのお客さまが満足でき、楽しく過ごすことを可能とする快適さの演出を追求しています。」と言っていました。また、ショッピングモールが単にモノやサービスを提供するだけの場ではなくコミュニティ拠点として、地域に望まれ、そこに暮らす人々の生活をより豊かにすることに貢献し、高齢の方、身体の不自由な方、赤ちゃん連れの方など訪れるすべての人々が快適にショッピングを楽しめる『人と環境に配慮したショッピングモール』であることが重要であると考えているそうです。2014年(平成26年)の開業する際、大型商業施



設としてユニバーサルデザインを導入して以来、積極的に研究を重ねているとのことでした。しかし実際のところ、イオンモール内での共用施設やイオンが経営する店舗でのユニバーサルデザインは進んでいるが、個別の店舗に対してはユニバーサルデザインを周知するのみとなっているとのことでした。

確かにイオンモール多摩平の森内のトイレやエレベーターやフードコート等の共用施設、イオンスーパー等の店舗は視覚障害者の方や車椅子ユーザーには使いやすいバリアフリー設計になっていました。ところが個別の店舗については、品物が床に置いてあるため通路が狭く車椅子では入れない店舗が多くあったり、視覚障害者の方からは「花屋では、床に置いてあるお花を白杖で叩いてしまいそう…」 「置いてあるのが分からず踏んでしまいそう…」などという意見がありました。また、他に共用施設については「全出入口やインフォメーションデスクやサービスカウンターまでの点字ブロックが無い。」「音声案内も無い。」「アテンションが必要な場合、事前の電話予約が必要。」「食



りょうひんでん せんもんてんが い わく こ あてんど
料品店と専門店街という枠を超えたアテンドをし
ほ どう いけん て
て欲しい。」等と意見が出ていました。

わたくしおかわ ちゅうもく くるま ちゅうしゃじょう しょうめんげん
私大川が注目したのは『車の駐車場と正面玄
かんまえ たくしー の ぼ くるまい すい そうじ の
関前のタクシー乗り場での車椅子移送時の乗り
お いちじてき ちゅうしゃ ちゅうしゃじょう くるまい す
降りする一時的な駐車』です。駐車場には車椅子
ようちゅうしゃじょう だい かい どうろくせいせんよう
用駐車場が21台あります。3Fのみ『登録制専用
ちゅうしゃじょう ゲート おも ちゅうしゃじょう
駐車場(ゲートつき思いやり駐車場)』となってい
だいちゅうしゃ か のう どうろくせいせんようちゅう
て9台駐車可能になっています。『登録制専用駐
しゃじょう したいしょうがいしゃ て ちゅう も ひと どうろく
車場』は身体障害者手帳を持っている人が登録
どうろくご せんようゲート かいへい りもこん
でき、登録後に専用ゲートを開閉できるリモコン
しきゅう けんがくどうじつ
が支給されることになっています。しかし見学当日
どうろくせいせんようちゅうしゃじょう だいちゅうしゃ
は『登録制専用駐車場』に7台駐車されていたの
しょうがいしゃまーく つ くるま くるま うんてん
ですが、障害者マークの付いている車や車を運転
しゅうどうそうち つ くるま だい
するための手動装置が付いている車は1台もあり
あんない すたっふ
ませんでした。案内をしてくれたスタッフに「この
と くるま ひと ほんどう て ちゅうも
止まっている車の人たちは本当に手帳持ってるん
ですかね?」と言うと「どうですかねえ…」と苦笑
たいおう
いで対応されてしまいました。

ご しょうめんげんかんまえ たくしー の ぼ けんがく
その後、正面玄関前のタクシー乗り場も見学を
いおんもーるない いべんとほーる てーぶる
し、イオンモール内のイベントホールでテーブルを
かこ こんだんかい さんか かがた けん
囲み懇談会をしました。参加された方々からの見
がく かんそう いけん こうかん おこな
学の感想や意見の交換を行いました。



わたし どうろくせいせんようちゅうしゃじょう くるま
私からは『登録制専用駐車場』について「車
い す ゆーざー くるま の お はば ひろ ちゅうしゃ
椅子ユーザーの車の乗り降りには幅の広い駐車
すべーす ひつよう げんざい て ちゅうも
スペースが必要であること。」「現在の手帳を持っ
どうろくせいせんようちゅうしゃじょう しょう
ているだけで『登録制専用駐車場』を使用される
ほんとう ひつよう ひと りよう しょうめんげん
と、本当に必要な人が利用できない。」「正面玄
かんまえ たくしー の ぼ くるまい す の お
関前のタクシー乗り場で車椅子の乗り降りができ
すべーす ひょうじ ほ いけん
るスペースや表示をして欲しい。」と意見させても
いおんがわ ねん へいせい ねん
らいました。イオン側からは「2014年(平成26年)
かいぎょうどうじ ゲート りもこん はいふ
の開業当時からゲートのリモコンを配布している
だれ はいふ きろく な たし
が、誰に配布しているのかの記録は無い。確かに
いっばん かた しょう みう
一般の方が使用しているのも見受けられるので、
こんご こうしんしき かたち かいぜん
今後は更新式のような形に改善していきたいと
おも げんかんまえ たくしー の ぼ かくちゅう
思います。」「玄関前のタクシー乗り場の拡張は
むづか くるまい す ゆーざー いちじてき の お
難しいが、車椅子ユーザーの一時的な乗り降り
かのう ひょうじ など かいどう
が可能な表示等を行います。」との回答がありました。
た。

こんかい しせつけんがくかい いおんもーる たまだいら
今回の施設見学会ではイオンモール多摩平
もり すたっふ かがた にっしょうれんがわ いけん ようぼう
の森のスタッフの方々が日障連側の意見や要望
しんけん う と まえむ かいどう
などを真剣に受け止めて、前向きな回答をしてく
ださいました。まだまだ先にはなるとは思いますが、みんなが利用しやすいように改善していただ
りよう かいぜん
ければと思っています。 (記:大川)

びあかうんせりんぐちようきこうざ はじ
<ピアカウンセリング長期講座が始まりました>

がつ にち きん ひゅーまんけあきょうかい あいえる
9月1日(金)からヒューマンケア協会・ILみな
たま じりつせいかつせんたーひの だんたい きょうさい
みTama・自立生活センター日野の3団体の共催
びあかうんせりんぐちようきこうざ すたーと
でピアカウンセリング長期講座がスタートしました。
ぜん かい まいしゅうきんようび じ じ ぶん ず
全12回、毎週金曜日の13時~16時30分で『Z
ーむ りよう おんらいん かいさい
OOM』を利用してオンラインで開催しています。

ころな か えいきょう すうねんちようきこうざ かい
コロナ禍の影響によりここ数年長期講座の開
さい びあかうんせりんぐ
催ができないでしたが、オンラインではありま
すが久しぶりに開催することとなりました。ピアカ
うんせりんぐ ほんらいたいめん おこな びあか
ウンセリングは本来対面で行うことで、よりピアカ
うんせりんぐ よ じっかん
ウンセリングの良さを実感できるものなのですが、

ころな か あ たいめん かいさい
コロナ禍が明けたとはいえまだ対面での開催に
ふあん ぶぶん おんらいん おこな
は不安な部分もあったので、オンラインで行うとい
けつろん いた
う結論に至りました。

おんらいん きた いわて みなみ ひろしま
オンラインならでは北は岩手から南は広島ま
ちか りんせつ しざいじゅう かた ふく めい
で、近くは隣接している市在住の方も含めて6名
かた さん か じっしつてき きより
の方が参加してくださっています。実質的な距離
はな すこ たが きより ちぢ
は離れていますが、少しずつお互いの距離を縮め
なかま かんかく かん
て仲間がそばにいてくれる感覚を感じられるよう
こうざ すす おも
に講座を進めていきたいと思っています。

き あきやま
(記:秋山)

しょうがいしゃびあさぼーと くにけんしゅう い
<障害者ピアサポートの国研修に行ってきました>

がつ にち げつ にち か かかん こうとうく
9月25日(月)~26日(火)の2日間に江東区
ていおーしーありあけこんべんしよんほーる しょう
にあるTOC有明コンベンションホールにて、「障
がいしゃびあさぼーとけんしゅうじぎょう かが しどうしゃようせいけん
害者ピアサポート研修事業に係る指導者養成研
しゅう たいめん おこな こうしけんふあしりてーたー
修」が対面で行われ、講師兼ファシリテーターとし
さん か けんしゅうじぎょう きょうどうざ
て参加してきました。また、この研修事業の共同座
ちよう つと けんしゅう つう
長も務めさせていただきます。この研修は、通
しょうく にけんしゅう よ しょうがいしゃびあさぼ
称『国研修』と呼ばれています。「障害者ピアサポ
ーとけんしゅう じっししゅたい とどうふけん していと し
ート研修」の実施主体となる都道府県・指定都市
じっしやうこう もと てきせつ けんしゅうじっし
が実施要綱に基づいて適切に研修実施できるよ
しどうしゃようせい おこな
うに指導者養成を行うものです。

とどうふけん していと し さん か
44の都道府県・指定都市からの参加があり、
かくじちたい けんしゅうたんどうしよくいん しょうがいどうじしゃ せん
各自治体の「研修担当職員」「障害当事者」「専
もんしよくとう たちば ひと
門職等」の3つのそれぞれの立場の人たちが3
にん ちーむ けんしゅう あつ
人で1つのチームとして研修に集まってきました。
すて しょうがいしゃびあさぼーとけんしゅう じっし
既に「障害者ピアサポート研修」を実施している
じちたい じっしけいかく よさんかくとく
自治体もあれば、まだ実施計画も予算獲得もされ
じちたい おおさ
ていない自治体があるなど大きく差があります。

れいわ ねんどうしょうがいふくしきーびすどうほうしゅうかいてい
令和3年度障害福祉サービス等報酬改定にお
じりつせいかつえんじょ けいかくそうだん しえん しょうがいじそうだん
いて、自立生活援助・計画相談支援・障害児相談
しえん ちいきい こうしえん ちいきていちゃくしえん たいしゅう
支援・地域移行支援・地域定着支援を対象とし
びあさぼーとたいせい かさん しゅうろうけいぞくしえんびーがた たい
たピアサポート体制加算、就労継続支援B型を対
しょう びあさぼーとじっし かさん そうせつ
象としたピアサポート実施加算が創設されました。

これらの加算については、地域生活支援事業の
しょうがいしゃびあさぼーとけんしゅう きそ せんもんけん
「障害者ピアサポート研修(基礎研修及び専門
けんしゅう しゅうりょう しょうがいしやおよ かんりしやとう はいち
研修)」を修了した障害者及び管理者等を配置
ようけん かくじちたい
することが要件となっています。そのため各自治体
しょうがいしゃびあさぼーとけんしゅう きそ せんもんけん
での「障害者ピアサポート研修(基礎と専門研
しゅう じっし ひつす
修)」の実施が必須となってくるわけです。

けんしゅう こうぎ ぐるー ーぶわーく こうご おこな
研修は講義とグループワークが交互に行われ、
わたし か ごしまけん みやざきけん おきなわけん ぐるー ーぶ ふあ
私は鹿児島県・宮崎県・沖縄県のグループのファ
しりてーたー さんか けん
シリテーターとして参加してきました。どの県もす
けんしゅう じっし はじ けんしゅうかいさい
でに研修は実施され始めていて、研修開催のた
かだい じゅんぴ ねっしん とく
めの課題や準備に熱心に取り組んでいらっしゃい
ました。

しょうがいしゅべつ けんしゅう おこな
これまでは障害種別ごとに研修が行われるこ

とお
とが多かったのですが、この「障害者ピアサポート
けんしゅう しょうがいしゅべつ と せいしん しんたい ちてき なん
研修」は障害種別を問わず、精神・身体・知的・難
びょう こうじ のうき のうしょうがい しょうがい たいしゅう
病・高次脳機能障害すべての障害を対象にして
ひつよう ごうりてきはいりよ さまざま けん
います。そのため必要な合理的配慮も様々で、研

しゅうじっし しゅたい じちたい けんしゅう いたくさき みな
修実施主体の自治体や研修委託先の皆さんも
くろう けんしゅう とお しょうがい りかい
苦勞されています。この研修を通して障害の理解
ぎょうせい しょうがいしやどうし すす
が行政だけでなく障害者同士にも進んでいき
おも おも き あきやま
かけになると思います。 (記:秋山)

えすでーじーず へいわ みらい かんが とーくいべんと お
<SDGsから平和な未来を考えよう!トークイベントを終えて>

みな
皆さん、こんにちは。最近、平和について考える
きかい しょうかい ほうこく
機会をいただきましたので、その報告をいたします。

へいわ せんそう ぼうりよく じょうたい
平和とは、戦争や暴力のない状態であること、
わたし きょうつう にんしき こんかいへい
それは私たちの共通の認識です。しかし、今回平
わ かんが とき せんそう ぼうりよく
和について考えた時、戦争や暴力がないことだけ
ほか じゅうよう たらた き
ではなく、他にも重要なことがあると改めて気が
つ 付きました。

ひとびと たが さんちょう きょうりよく しあわ
それは、人々がお互いに尊重し、協力し、幸せに
く しぜん どうぶつ たいせつ かんきょう まも
暮らすことや、自然や動物を大切にして環境を守
る ことがお かんしゃ ことば わす
ること、そして、笑顔や感謝の言葉を忘れないこと
わたし にちじょうせいかつ なか じっせん
など、私たちが日常生活の中で実践していること
へいわ ふく
も平和に含まれるのではないかということです。

わたし う も へいわ
しかし、私たちが生まれながら持っている平和
にちじょう あ まえ たらた かんが
な日常は当たり前ではないことも改めて考える
ひつよう かん わたし
必要があると感じました。私たちはありがたいこと
めぐ せいかつ おく せ かいじゅう せん
に恵まれた生活を送っていますが、世界中には戦
そう ひんこん くる ひとびと さんざい かれ
争や貧困に苦しむ人々が存在しています。彼らに
わたし あ まえ おも ゆめ
とって、私たちが当たり前と思っていることは夢の
さんざい
ような存在です。

とく せんそう えいきょう う しょうがいしや こうれいしや
特に戦争の影響を受ける障害者や高齢者など
よわ たちば ひとびと しえん ふじゅうぶん せいかつ こん
の弱い立場の人々は、支援が不十分で生活の困
なん し せんそう さべつ はいじょ よういん
難を強いられています。戦争は差別や排除の要因
あら しょうがいしや う だ
となり、新たな障害者を生み出すこともあります。
しょうがいしや じぶん い かんきょう とどの
そのため、障害者が自分らしく生きる環境を整え



しゃかい あんてい へいわ かくほ うえ ひじょう
ることは、社会の安定と平和を確保する上で非常
じゅうよう
に重要です。

わたし ひとり しょうがいしや けん
私たち一人ひとりができることは、障害者の権
り ほご かれ じりつ せいかつ しえんたいせい
利を保護し、彼らが自立して生活できる支援体制
とどの せんそう たど
を整えることです。また、戦争でなくても、例えば、
ひがしにほんだいしんさい けいけん きょうくん さいがいじ とく
東日本大震災での経験を教訓に、災害時には特
しょうがいしや ふく すべ ひとびと あんぜん ひなん
に障害者を含む全ての人が安全に避難できる
かんきょう せいび ひつよう ほうりつ せい
ような環境を整備する必要があります。法律や制
ど せいび わたし いしき たか じょうほう
度の整備だけでなく、私たちは意識を高め、情報
きょうゆう ち いきしゃかいぜんたい きょうりよく あ たいせつ
を共有し、地域社会全体で協力し合うことも大切
です。

わたし ここ どりよく たよう りかい
私たちの個々の努力が、より多様で理解ある
しゃかい きざ いっぽ へいわ みち き ひら
社会を築く一歩となり、平和への道を切り拓くこと
しん みな じぶん
につながると信じています。皆さんも、自分にでき
かんが へいわ しゃかい じつげん む こうどう
ることを考え、平和な社会の実現に向けて行動し
ていきましょう。 (記:藤田)

<『しょうがいしゃをよりよくサポートするための勉強会』に参加しました>

6月19日(月)~全5回で行われたCILくになち援助為センターが主催の『しょうがいしゃをよりよくサポートするための勉強会』に参加しました。

日常的に障害を持つ人と関わる仕事をしている方々を対象に、日々の業務の中で起こりやすい悪循環などを焦点に当て、自分と障害を持つ人とのより良い関係について見つめ直し、より良い支援を行えるようになるためというテーマの勉強会でした。全5回で当事者職員(2名)、勉強会のスタッフさん(2名)、他事業所のコーディネーターなど(4名)の合計8名が参加していました。

勉強会では、具体例を挙げて参加者同士話し合い意見を言い合うことや、実際にあった介助中のトラブル等を参加者とリーダーでロールプレイを行いました。ロールプレイを行うことで、より詳しく支援について学びましたし、また今後自分が介助に入る時に違った関わり方ができるのではないかと思いました。

今まで自分では気付かなかったことを知ることができ、全5回の勉強会がとても楽しく、有意義な時間になりました。(記:秋田)

<ミニ交流会やってま~す☆彡>

今年度から事務所では実験的に小規模な交流会を行っています。10月までに3回、最近登録してくれた介助者を中心に4~5名の規模でお茶会やお食事を開催しました。

今後も定期的に介助者の交流の場を作りたいと思っていますので是非是非ご参加ください。

☺|ΦωΦ|☺ (記:柿下)



わたしたちのあゆみ

【2023年4月】

- 3日 東京都都市整備局情報交換会
- 17日 TIL運営会議
- 18日 JIL常任委員会
- 19日 衛生委員会
- 20日 東京都福祉保健局話し合い
- 23日 日障連 定期総会
- 25日 幹理事会
- 26日 京王線多摩動物公園駅無人化説明会及
び新機器実証実験
- 27日 立川療護園内覧会
- 28日 東京都相談支援従事者研修サポートグル
ープ会議

【2023年5月】

- 8日 日野市地域自立支援協議会
- 11日 JIL常任委員会
- 12日 介助者ミニ交流会
- 15日 TIL総会・TIL運営会議
- 17日 日野療護園苦情解決委員会
- 21日 日野市平和と人権課講演会
- 22日 当事者勉強会
- 23日 JIL関東ブロックイベント

- 24日 東京都相談支援従事者研修検討会
- 25日 日野市相談支援部会
- 26日 JIL常任委員会
- まちづくり人プロジェクト委員会
- 27日 日野市障害者差別解消に関する啓発イベ
ントin多摩動物公園

【2023年6月】

- 1日 障害者ピアサポート指導者養成研修検討委
員会
- 6日 東京都相談支援従事者現任研修区市町村
実習説明会
- 8日 CIL日野総会
幹理事会
- 18日 日障連 運営委員会
- 19日 「しょうがいしゃをよりよくサポートするた
めの勉強会(以下、よりサポ)」参加
- 20日 東京都相談支援従事者現任研修 ファシ
リテーション説明会
- 21日 衛生委員会
- 22日 TIL運営会議
- 23日 東京都障害者ピアサポート研修カリキュラ
ム検討委員会
- 26日 幹評議委員会

27日~29日 JIL総会・JIL全国セミナー
30日 日野市障害者計画等策定委員会

31日 よりサポ 参加
全体研修

【2023年7月】

3日 よりサポ 参加
日野市障害福祉課話し合い
5日 介助者ミニ交流会
6日 障害者ピアサポート指導者養成研修会議
7日 東京都相談支援従事者現任研修F日程
10日 よりサポ 参加
12日 日障連 JR豊田駅「話せる券売機」体験及び懇談会
JIL常任委員会
14日 日野市地域公共交通会議
18日 精神障害者ピアサポートグループ
19日 東京都相談支援従事者現任研修H日程
立川療護園苦情解決委員会
衛生委員会
20日 TIL運営会議
日野市相談支援部会
21日 東京都障害者ピアサポート研修 ファシリテーター説明会
24日 当事者勉強会
よりサポ 参加
25日 東京都障害者デジタル技術活用支援者養成研修
27日 日野市障害者差別解消支援地域協議会
障害者ピアサポート指導者養成研修検討委員会
日障連 障害福祉課との懇談会

【2023年8月】

1日 東京都障害者ピアサポート研修カリキュラム検討委員会
4日 日野市福祉有償運送運営協議会
10日 東京都障害者ピアサポート研修 基礎研修
17日 東京都障害者ピアサポート研修 基礎研修
東京都相談支援従事者現任研修F日程
18日 東京都相談支援従事者現任研修F日程
21日 日野市障害者計画等策定委員会
TIL運営会議
25日 TILサポートグループ
28日 東京都相談支援従事者現任研修H日程
幹会議
29日 東京都相談支援従事者現任研修H日程
精神障害者ピアサポートグループ
30日 全体研修
31日 日障連 施設見学会イオンモール多摩平の森訪問
TIL学習会

【2023年9月】

1日 ピアカウンセリング オンライン長期講座①
障害者ピアサポート推進会議
8日 ピアカウンセリング オンライン長期講座②
東京都相談支援従事者研修検討会

- | | |
|---|--|
| <p>13日 JIL常任委員会</p> <p>14日 福祉教育ハートフルプロジェクト 日野第
六小訪問</p> <p>15日 ピアカウンセリング オンライン長期講座③</p> <p>20日 東京都相談支援従事者初任者研修区市
町村説明会</p> <p>立川療護園苦情解決委員会</p> <p>衛生委員会</p> <p>21日 障害者ピアサポート指導者養成研修検討
委員会</p> | <p>精神障害者ピアサポートグループ
TIL運営会議</p> <p>22日 ピアカウンセリング オンライン長期講座④</p> <p>25日 障害者ピアサポート指導者養成研修
当事者勉強会</p> <p>26日 障害者ピアサポート指導者養成研修
日野市障害者週間実行委員会
全体研修</p> <p>28日 東京都相談支援従事者初任者研修 ファ
シリテーター説明会</p> <p>29日 ピアカウンセリング オンライン長期講座⑤</p> |
|---|--|

Instagram & Facebook はじめました

お気軽にのぞいてください! フォローも歓迎!



CILHINO



Instagram

↑↑ Instagramはこちら




↑↑ フェイスブックはこちら



双子のナスを収穫しましたー!





ユニバーサルデザインタクシーに乗車してきました!



籠を飾りました!

しょうがい りゆう さべつ かん そうだんまどぐち
障害を理由とする差別に関する相談窓口

れいわ ねん かつげんざい
 (令和3年12月現在)

ひのししょうがいしゃさべつかいしょうすいしんじょうれいもと
 日野市障害者差別解消推進条例に基づき、障害を理由とする差別に関する相談窓口を設置しています。
 しょうがい りゆう さべつ がいとう おも
 障害を理由とする差別に該当すると思われる事実がありましたら、下記窓口にご相談ください。

しょうだんまどぐち	しょうざい	でんわ	メールアドレス	うけつけにじ
しょうがいふくしか 障害福祉課	しんめい 神明1-12-1	☎ 514-8991 ☎ 583-0294	syogaif_suisin@city.hino.lg.jp	げつ きんようび 月～金曜日 8:30～17:15
ひのしほつたつ きょういく 日野市発達・教育支援 センター エール	あさひ おか 旭が丘2-42-8	☎ 589-8877 ☎ 514-8740		げつ きんようび 月～金曜日 9:00～12:00 13:00～18:00
えぬびーおーほうじん NPO法人	たかはた 高幡2-9	☎ 594-7401 ☎ 594-7402	cihino@view.ocn.ne.jp	げつ きんようび 月～金曜日 9:00～17:00
じりつせいけつ 自立生活センター-日野	かい ウイステリアガーデン1階	☎ 591-6321 ☎ 599-7203		げつ きんようび 月～金曜日 9:30～17:30
ちいきせいけつしえん 地域生活支援センター	たかはた 高幡864-15	☎ 582-3400 ☎ 582-3302	yamabato-sodan@oozola.org	げつ きんようび 月～金曜日 9:00～17:00
とくていしていせうだんじぎょうしよ 特定指定相談事業所	あさひ おか 旭が丘2-42-5			
やまばと				

しゅくじつ ねんまつねんし のぞ
 ※祝日・年末年始を除く

たしやうがい りゆう さべつ かん そうだんまどぐち その他障害を理由とする差別に関する相談窓口

【国】

みんなの人權 110番	全国共通人權相談ダイヤル 0570-003-110 http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken20.html
行政苦情 110番	常設相談所(番号一覧) http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken03_00223.html 全国共通番号 0570-090-110 https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/hyouka/soudan_uketuke.html 総務省行政相談センター きくみみ(連絡先一覧) https://soumu.go.jp/main_sosiki/hyouka/soudan_n/kyokusyo_madoguchi.html

【東京都】

東京都障害者 権利擁護センター	新宿区 西新宿 2-8-1	広域支援相談員 【障害者や関係者からの相談】 【民間事業者からの相談】	03-5320-4223 03-5388-1413 :syougaisakeneriyougo @section.metro.tokyo.jp	は、平日 9:00~17:00
--------------------	------------------	---	--	--------------------

【雇用関連相談担当】

ハローワーク八王子 (八王子・日野管轄)	八王子市 子安町 1-13-1	【障害者である労働者等】 障害のある方の職業相談 一ナー(2階) 【事業主】 障害者・高齢者の雇用管理に 関する相談コーナー(2階)	【障害者である労働者等】 042-648-8609(48#) 【事業主】 042-648-8609(33#)	平日 8:30~17:15 (土・日・年末年始除く)
-------------------------	-----------------------	---	---	----------------------------------